

平成 30 年度 第 1 回 志摩市地域公共交通会議 離島航路幹事会

と き 平成 30 年 6 月 20 日（水） 13：30～15：00

ところ 志摩市役所 405 会議室

【出席委員】

志摩市 副市長	小山崎 幸夫
間崎自治会 会長	岩城 正幸
間崎老人会 会長	野村 儀次
間崎婦人会 会長	山本 くに枝
中部運輸局三重運輸支局烏羽海事事務所 所長	山崎 博章
志摩マリンレジャー(株) 取締役社長	喜多 勇司
三重県 南部地域活性化推進課 班長	鈴木 一司
志摩市 政策推進部 部長	三橋 哲雄

【欠席委員】

なし

1.あいさつ

事務局

本日はお集まりいただき、ありがとうございます。それでは、志摩市地域公共交通会議 離島航路幹事会を開催します。

今年度につきましても、この会議をもって離島航路確保維持計画を策定し、国土交通省へ認定申請書を提出させていただきたいと思えます。

会長

本日は航路の確保、維持に不可欠な国の補助制度に伴う、計画をご提案させていただきますので、ご貴重な意見をよろしくお願ひいたします。それでは議事に移らせていただきます。事務局は説明をお願いします。

2.議事

(1) 和具～賢島航路の現状について

事務局

資料 1 をご覧ください。具体的な説明につきましては、運行事業者である志摩マリンレジャーの喜多社長にお願ひしたいと存じます。それではお願ひいたします。

B 委員

資料 1 和具～賢島航路 年間輸送実績に基づき説明。

会長

このことについてご意見がある方は挙手をお願いいたします。

A 委員

間崎島民は普段和具、賢島のどちらに行かれることが多いですか。

B 委員

通院、買い物が外出目的であるので、賢島へ行くことが多い。自家用車を所有している方は賢島に駐車場がある。

間崎～和具へは 8 名程度の定期利用がある。通勤で利用されている方もいる。

C 委員

昨年 10 月から島民割引を実施していただいている。利用人数は増加していると感じている。売上としては上がっていますか。

B 委員

利用人数は増加傾向であるが、売り上げは変わっていない。

C 委員

月に 1 度社会福祉協議会と協力して、買い物ツアーを実施している。

間崎島は高齢化率が 80% 近くある。

(2) 離島航路確保維持計画の策定について

事務局

間崎島については高齢化率が非常に高くなっており、公共交通は通院など生活に必要なものになっております。安定して航路を確保していくには、公的支援が必要であります。ここで、資料 2 離島航路確保維持計画の策定について、志摩マリンレジャー(株)喜多社長よりご説明いただきます。

B 委員

資料 2 離島航路確保維持計画に基づき、説明。

会長

ダイヤ改正案を見ると、始発の時間が遅くなっている。水産高校へ通学している生徒は始業時間に間に合いますか。

B 委員

水産高校と調整済みです。しかし、冬ダイヤになると部活動を行っている生徒が間に合わない。

E 委員

始発便の時間を遅らせるとなると、始発で通院している方が困る。

会社の利益も大事だが、もう少し島民のことを考えてほしい。

A 委員

今回の資料ではこれから収支がどのように改善していくかが分からない。比較が可能な

い。

B 委員

増収を見込み、和具航路各区間の運賃値上げを予定している。始発便、最終便の時間を変更することで、時間外勤務の手当を減らし、運賃値上げで増収し、赤字の縮小を考えている。

A 委員

現在はバスと航路の運賃は航路の方が安い。運賃値上げを実施すると、バスの方が安くなるため、利用人数は減少するのではないか。

B 委員

運行距離が同じであるので、航路については現在、安すぎると感じている。

E 委員

これまで和具～間崎と賢島～間崎で運賃に差があることを以前の会議で発言したが、聞き入れてもらえなかった。

B 委員

間崎～和具間は通学などの関係上、値上げを行わなかった。公的機関から補助をいただき、島民割引を拡充できればバス運賃と同額程度にはもっていける。

会長

運賃値上げの予定時期はいつですか。

B 委員

平成 31 年度 4 月からを予定している。

E 委員

今回のダイヤ改正でバスを利用せざるを得ない学生が増えると思うので、利用人数は減少すると考える。

B 委員

とにかく赤字を縮小しないと、国からの補助金はいただけない。

E 委員

市として働きかけはないですか。

会長

本日聞いた話なので、今すぐの回答は難しい。この話し合いの中で、3 か年計画の変更がでてくるのではないか。

D 委員

本来、3 か年計画は市と運行事業者で十分協議し、提出してもらわなければならない。

A 委員

地域公共交通網形成計画が完成していないのに、この 3 か年計画を作成して良いのか。全体会での協議は必要ないのか。

和具、水産高校への通学者など地域住民の意見を聞かなくてよいのか。

会長

この件については、今後の地域公共交通会議の議題になっていく。事務局は再度、情報収集、調整を行ってください。

A委員

提出期限までに3か年計画の修正は難しいのではないかと。

運賃改正には法律うんぬんの話ではなく、地域住民の理解が必要である。

D委員

今回の3か年計画はとりあえずこのまま提出していただき、今後修正していただきたい。もっと運行事業者と市で調整していただくべきであった。

A委員

計画の整合性は大丈夫そうですか。

B委員

この計画であると、運賃改正ができなくなるのではないかと。

A委員

運賃改正をする前に住民への説明を行わなければならない。全体会へも伝えるべきではないかと。

F委員

資料などの作りこみを進め、島民と運行事業者の間に事務局が入り説明会を進めさせていただく。

B委員

今回の議題について、早急に進めたいため8月中の全体会開催をお願いしたい。

会長

お時間も参りましたので、本日の地域公共交通会議離島航路幹事会を終了したいと思います。本日はお集まりいただき、ありがとうございます。